

# 設立趣意書

財団法人 内田エネルギー科学振興財団

The Uchida Energy Science Promotion Foundation

〒955-8510

新潟県三条市東新保7番7号

株式会社コロナ内

TEL (0256) 32-2111

E-mail:energy@hode01.corona.co.jp

<http://www.corona.co.jp/energy/>

財団法人内田エネルギー科学振興財団  
設立趣意書

科学技術の研究開発は、経済発展の基盤を形成するとともに、安心して暮らせる潤いのある社会の構築や科学技術と人間社会の調和等人類共通の課題に対する技術的打開策として非常に重要な役割を有しているといわれています。

我が国においても国の発展の基礎的条件を整備するため、エネルギー政策の総合的推進が図られておりますが、近年エネルギー危機が叫ばれ、世界エネルギーの供給が中・長期的にひっ迫することが懸念されており、地球上の限られた資源を有効に活用するリサイクル技術の開発や地球環境問題への視点を踏まえ、エネルギーを巡る新たな変化に対応した、需給両面からの対策を推進することが求められております。特に我が国の主なエネルギー源である石油の我が国の総エネルギーに対する依存度は国際的にみても高く、有限の資源である石油に代わるエネルギー資源の研究開発については、国策として国立・公設試験研究機関等において取り組まれているところであります。

また、国のみならず新潟県においても、大学、試験研究機関、第三セクター等において新エネルギーの技術開発を目指し、核融合、太陽光発電、水力、地熱、風力、バイオテクノロジー等の新エネルギーの開発及び普及を図るための試験研究が推進されているところでありますが、新潟県においてエネルギー資源に関する科学技術を一層発展させるためには、官民いずれの分野においても研究水準の向上と優秀な人材の育成が今後ますます求められてくるものと考えられます。

この財団設立の提唱者である内田鐵衛は、昭和6年まだ炭や薪、石炭の時代に最先端のエネルギーだった石油エネルギーの優位性にいち早く着目し、安全、高効率で操作性良好な石油コンロの研究に着手しました。

昭和8年、第1号の特許を取得し、昭和12年株式会社コロナの前進である内田製作所を創設し、石油コンロメーカーとしての道を歩み始めました。

その後、昭和30年に日本最初の石油ストーブの開発に成功し、優れた利便性、快適性、経済性で着実に普及率を伸ばし、日本の家庭における暖房方式を一変させ国民暖房として定着し、我が国の文化生活的向上に貢献いたしました。以降も常に新分野への研究開発に対して旺盛にチャレンジし石油のみならず、電気・ガス・太陽熱等各種のエネルギーに対しても有効利用に積極的な取り組みを続けてまいりました。

その間、昭和 35 年に紫綬褒章を、昭和 49 年には、我が国の発明と業界振興につくした功績により勲三等瑞宝章を受章されました。

ここに、内田鐵衛のエネルギー資源に関する研究の意志を将来にわたって継承し、新潟県におけるエネルギー資源に関する科学技術を向上させるため、財団法人内田エネルギー科学振興財団を設立することといたしました。

この財団は、エネルギー資源に関する科学技術の試験研究、普及等に対する助成等を行うことにより、エネルギー資源に関する研究開発及び技術開発を推進し、もって新潟県における工業の振興に寄与することを目的といたします。